

## 1 目的

本校では、『つながり』を意識した実践を学校目標に掲げてきました。『つながり』は、児童と教職員、そして、保護者や地域との連携だけでなく、児童同士のつながり、上級生から下級生へのつながり、また、学習や行事等をつなぎ、児童個々の内面での成長などに関わる言葉です。さらに『つながり』を継続的に意識させることで、やがては、綿々と続く学校の文化・伝統として引き継がれるものと考えています。

## 2 内容

### (1) 児童個々の成長をつなぐ

#### ア 繰り返し学習

学力定着を図るために、読み・書き・計算は欠かせないもので、全教科の土台となります。週の計画に位置づけた朝学習（火曜：算数 木曜：国語）において、既習事項を確実に積み重ねるよう、児童の実態に合わせ、学年ごとに工夫して反復練習に力を注いでいます。また、各教科において既習内容を活用し発展課題にも取り組めるよう授業展開を工夫して取り組みました。

### (2) 心や命をつなぐ

#### ア 人権教育

文字職人の杉浦誠司さんを講師に迎えて人権講演会を実施しました。幼少期にひどいいじめに遭い、辛い日々を過ごし、それを乗り越えてきた体験をもとに、子どもたちに夢をもつことの素晴らしさ、皆とつながれば夢は必ず叶うなどの熱い思いを高学年の児童へ語っていただきました。

最後に、児童の目の前で、何を書こうかじっくりと考えられ、書きはじめられたら一気に流れるような筆さばきで、メッセージを書いてくださり、児童の心に思いが強く伝わる時間となりました。



杉浦誠司さんからの夢めっせ一字

#### <杉浦さんからの夢めっせ一字>

その命に宿る光、可能性 あなたの心の喜ぶことに素直に生きて  
その命の光を輝かす事が 人生をしあわせにする

#### イ キャリア教育

12月、6年生を対象に地域の伝統産業を含むさまざまな仕事に従事している方を講師として6名お招きし、働くことのやりがいや楽しさ、誇り、苦勞、喜び、大切にしていることなどについて講話をしていただきました。子どもたちは、自分の興味・関心のある職業を2つ選び、その講話を一語一語聞き漏らさないようにメモを取りながら、熱心に聞き入って、とても有意義な時間を過ごすことができました。この経験を通して子どもたちの職業選択の幅が広がり、今の自分を見つめ直し、生き方について深く考える事ができるとてもよい機会となりました。

## ウ 歯科指導

本校が歯科指導に力を注ぎ始め15年目になりました。また、本校は今年度より3年間、海部歯科医師会の「永久歯へのバトンタッチ運動」の参加依頼校となり、活動しています。「口腔内の健康が新型コロナウイルス感染症の予防につながる」という学校歯科医の先生方のアドバイスをもとに、昨年度中止していた給食後の歯みがきを感染症対策に留意しながら実施しました。また、バトンタッチ運動以前から実施している全児童を対象に口腔写真撮影を行い、全クラス歯科保健指導を実施し、学校歯科医や歯科衛生士の先生方から、より専門的な指導を行っていただきました。

第1回学校保健委員会では、「歯と口腔に関する健康課題を改善するための効果的な手段」について、学校歯科医の先生方、教職員、PTA役員で協議を行いました。「歯と口腔に関するアンケート調査」結果では、保護者と児童の結果に差があることや、学校での歯みがき指導には限界があるが、日常の中で口腔の健康に関してできる指導があることなど、学校歯科医の先生方から指導・助言をいただきました。今後も、口腔の健康が全身の健康につながっていることを意識させながら、これまで積み重ねてきた成果が崩れないように努めていきたいと思えます。



## エ Q-U 研修会

Q-U学級経営スーパーバイザー・上級教育カウンセラーの奥村桂子先生を招いた研修会では、「時代は変わった～これから期待される学級集団～」のテーマのもと行いました。教育現場へのICT導入による教師の役割の変化、教師の子どもへの言葉かけの変化、これから求められる学級集団など、Q-Uの分析結果を基に、児童一人一人についての理解や対応方法、今後の学級経営の方向性について、一つ一つ丁寧にわかりやすく説明していただき、児童理解を深めるために多くのことを学ぶことができました。

## 3 評価

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教育活動に制限がある中で進めてきました。しかし、昨年度を取組を参考に、制限がある状況下で、「今、できること」を模索しながら、職員内で知恵を出し合い、工夫して教育活動を進めてきました。

今年度は「学びの振り返り」を特に大切にし、道徳の授業での振り返りを付箋紙に一人一人記入し、廊下の「学びの交流掲示板」に貼らせました。そうすることで、それぞれが学んだことや感じ取ったことを、掲示板で交流でき、自らの考えをさらに深めることができました。

また、地域人材の活用や講師による研修会により、児童の成長を支える教師の指導力を高めることにもつながりました。

## 4 課題

次年度も安全で安心できる学校づくりを目指す中で、子どもたち一人一人が多くの学びができるよう、教職員、保護者、そして地域と連携・協働しながら、児童の実態に合った教育活動を模索していきたいと考えます。